

ヤマトシステム開発

注目集める「社内便トレースサービス」

社内便物流にも宅急便クオリティを。ヤマトグループのヤマトシステム開発(東京都江東区南砂2-5-15)が提供する「社内便トレースサービス」が大きな注目を集めている。本社と営業所、本社と支社などを日々行き交う重要書類の授受確認や配送状況チェックなどが容易にできる上、紛失・誤配・遅配の防止と早期発見に威力を発揮するからだ。生保業界大手の第一生命は同社のサービスを活用し、成果を上げている。

第一生命では本社・支社・支部合わせて約1750機関で、加入申込書や保険金請求書などの顧客情報をはじめとした書類が、1日に合計40000回行き交う。同社事務企画部事務基盤課の島海雅之課長補佐は「社内での受領票の受け取りや管理台帳への記載など、事務負担がかかっていた」と語る。

第一生命では本社・支社・支部合わせて約1750機関で、加入申込書や保険金請求書などの顧客情報をはじめとした書類が、1日に合計40000回行き交う。同社事務企画部事務基盤課の島海雅之課長補佐は「社内での受領票の受け取りや管理台帳への記載など、事務負担がかかっていた」と語る。

第一生命では本社・支社・支部合わせて約1750機関で、加入申込書や保険金請求書などの顧客情報をはじめとした書類が、1日に合計40000回行き交う。同社事務企画部事務基盤課の島海雅之課長補佐は「社内での受領票の受け取りや管理台帳への記載など、事務負担がかかっていた」と語る。

第一生命では本社・支社・支部合わせて約1750機関で、加入申込書や保険金請求書などの顧客情報をはじめとした書類が、1日に合計40000回行き交う。同社事務企画部事務基盤課の島海雅之課長補佐は「社内での受領票の受け取りや管理台帳への記載など、事務負担がかかっていた」と語る。

第一生命では本社・支社・支部合わせて約1750機関で、加入申込書や保険金請求書などの顧客情報をはじめとした書類が、1日に合計40000回行き交う。同社事務企画部事務基盤課の島海雅之課長補佐は「社内での受領票の受け取りや管理台帳への記載など、事務負担がかかっていた」と語る。

重要書類の配送状況チェックが容易に

第一生命が活用し成果あげる

社内物流の課題を解決

一般的に社内物流の課題は3つある。

1つ目は、期日指定の重要社内便は「送りまじ

た」「届きま

した」など電

話連絡が必要

で作業負担が

大きい。2つ

目は、社内便

の所在確認が

困難で、誤配

・遅配などの



水に強く、破れにくい特殊素材で作成された専用資材



「サービス導入で事務負担が軽減しました」と語る第一生命の島海氏

これらの課題をスッキリと解決するのが、①社内便追跡ASPサービス②重要書類専用資材の提供③メール室授受管理システムで構成される「社内便トレースサービス」だ。

①「社内便追跡ASPサービス」では、クロネ

コヤマトの「荷物お問い合わせシステム」のノウハウを活用。封筒一通単位の高セキュリティな授受管理をリーズナブルな料金体系で実現すると同時に、Webでの確認が簡単にできる「ASP」で提供する。

「新しいシステム導入で、配送状況が共有化され、未着書類の発見が容易になりました」第一生命の島海氏は成果を強調する。さらに「システムにどこからでもアクセスできるのは、当のような大きな組織で特に有効です」とASPサービスを高く評価する。

事務の2層化を推進する第一生命では、今年月中旬から支社を経由ず、支部と本社間で書類をダイレクトで送る取り組みを開始。京と大阪の25支社の傘にある約400の支で、「社内便トレースサービス」を順次導入している。「今後も同サービスの対象範囲を拡大していきたいと考えています」と島海氏は期待を込めて言う。

eb上での未着照会機を充実させる方法を採っている。

②「重要書類専用資の提供」では、社内便トレースサービスに特化した専用資材(書類の種や行き先で色分けした筒や、耐久性や防水性優れた専用バッグ)を供する。

③「メール室授受管理システム」では、ICタグ、バーコードを利用して固体管理し、メールで誤仕分けを防止する

ヤマトの専門性を評価

見落としていませんか？個人情報を含む社内便の危機管理！

私宛の社内便、いったい何処へ?!



ヤマトシステム開発株式会社

社内便トレースサービス —社内便物流にも宅急便クオリティを—

- 「送った」「届いた」の授受確認を、双方にメールで自動送信
- 社内便の配送状況が追跡でき、いつでもWebで検索可能
- バーコードの活用で、作業の効率化とヒューマンエラーを防止
- 伝票の書式統一で、見間違い・見落としを防止

お問い合わせ・お申し込みはお気軽に

TEL: ☎ 0120-11-8057 FAX: 03-5633-5394

<http://www.nekonet.co.jp> E-mail: tracing@nekonet.co.jp

ITセキュアソリューション事業部

トレーシングASPグループ 担当：赤坂・小松



社内便

検索



ヤマトシステム開発

注目集める「社内便トレースサービス」

社内便物流にも宅急便クオリティを。ヤマトグループのヤマトシステム開発(東京都江東区南砂2-5-15)が提供する「社内便トレースサービス」が大きな注目を集めている。本社と営業所、本社と支社などを日々行き交う重要書類の授受確認や配送状況チェックなどが容易にできる上、紛失・誤配・遅配の防止と早期発見に威力を発揮するからだ。生保業界大手の第一生命は同社のサービスを活用し、成果を上げている。

第一生命では本社・支社・支店合わせて約1750機関で、加入申込書や保険金請求書などの顧客情報をはじめとした書類が、1日に合計4000回行き交う。同社事務企画部事務基盤課の島海雅之課長補佐は「社内での受領票の受け取りや管理台帳への記載など、事務負担がかかっていた」と語る。

重要書類の配送状況チェックが容易に

第一生命が活用し成果あがる

社内物流の課題を解決

そんな中、ベンダー4社の社内便管理システムの比較検討を開始したのは07年3月頃。ヤマトシステム開発の「社内便トレースサービス」を採用

一般的に社内物流の課題は3つある。1つ目は、期日指定の重要社内便は「送りまじ」な「届きまじ」など電話連絡が必要で作業負担が大きい。2つ目は、社内便の所在確認が困難で、誤配・遅配などの



水に強く、破れにくい特殊素材で作成された専用資材で作業負担が大きい。2つ目は、社内便の所在確認が困難で、誤配・遅配などの



「サービス導入で事務負担が軽減しました」と語る第一生命の島海氏

これらの課題をスッキリと解決するのが、①社内便追跡ASPサービス②重要書類専用資材の提供③メール室授受管理システムで構成される「社内便トレースサービス」だ。

①「社内便追跡ASPサービス」では、クロネコ

「新しいシステム導入で、配送状況が共有化され、未着書類の発見などが容易になりました」と第一生命の島海氏は成果を強調する。さらに「システムにどこからでもアクセスできるのは、当社のような大きな組織では特に有効です」とASPサービスを高く評価する。

ヤマトの専門性を評価

「新しいシステム導入で、配送状況が共有化され、未着書類の発見などが容易になりました」と第一生命の島海氏は成果を強調する。さらに「システムにどこからでもアクセスできるのは、当社のような大きな組織では特に有効です」とASPサービスを高く評価する。

事務の2層化を推進する第一生命では、今年9月中旬から支社を経由せず、支社と本社間で送付する取り組みを開始。東京と大阪の25支社の傘下にある約400の支社で、「社内便トレースサービス」を順次導入している。「今後も同サービスの対象範囲を拡大していきたいと考えています」と島海氏は期待を込めて言う。

見落としていませんか？個人情報を含む社内便の危機管理！

私宛の社内便、いったい何処へ?!



社内便トレースサービス

—社内便物流にも宅急便クオリティを—



- 「送った」「届いた」の授受確認を、双方にメールで自動送信
- 社内便の配送状況が追跡でき、いつでもWebで検索可能
- バーコードの活用で、作業の効率化とヒューマンエラーを防止
- 伝票の書式統一で、見間違い・見落としを防止

お問い合わせ・お申し込みはお気軽に

TEL: 0120-11-8057 FAX: 03-5633-5394

http://www.nekonet.co.jp E-mail: tracing@nekonet.co.jp

ヤマトシステム開発株式会社

ITセキュリティソリューション事業部

トレーシングASPグループ 担当: 赤坂・小松

社内便

検索